

公表

## 事業所における自己評価総括表（放課後等デイサービス）

○事業所名	なないろの家		
○保護者評価実施期間	2024年9月19日	～	2024年10月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29人	(回答者数) 24人
○従業員評価実施期間	2024年11月21日	～	2024年11月28日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	11人	(回答者数) 11人
○事業者向け自己評価表作成日	2024年12月13日		

## ○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子どもの活動スペースが十分に確保されている	・クールダウンできる環境がある ・バリアフリー ・庭と砂場がある	・必要に応じてパーティションでスペースを区切ることで子どもが活動しやすい環境を整えている
2	・利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数や専門性が適切である	・国の基準に基づき必要な人数と有資格者を基準よりも多く配置している。公認心理士・作業療法士・保育士・児童指導員が子ども一人ひとりに対応して、きめ細やかな支援を提供出来るよう取り組んでいる。 ・ドライバー専門の職員がいる。	・定期的に研修を行い、スタッフのスキル向上にも取り組んでいる ・OJTに取り組んでいる
3	・生活空間は子どもに分かりやすく構造化された環境になっている	・視覚的に分かりやすくするために、片付けの場所におもちゃの写真を貼ったり、スケジュールやカレンダーを使って子どもに応じた活動内容の提示がされている。	・必要に応じて絵カードをすぐに提示できるよう大部屋(支援室)に設置している。また、スタッフ全員が絵カード、メモとペンを常備している。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・放課後児童クラブや児童館との交流や児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会が少ない	・希望する声が少ない ・現実問題として実現が困難	・今後も地域の公園や施設等に出かけたり、お祭りなどのイベントを開催して人々との交流の機会を増やしていく
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果（放課後デイサービス）

事業所名 なないろの家

公表日 2024年12月23日

利用児童数 30人

回収数 24人

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	23	1				・WAMネットに掲載されています。 ・個室がありクールダウンできる環境があります。 ・大きく体を動かす活動が出来るフラットな部屋があります。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	22	2			・見てないので、すみません。	・国の基準に基づき必要人数と資格を有したスタッフを配置しています。具体的には児童指導員や保育士、公認心理士、その他専門スタッフが子ども達一人ひとりに対応してきめ細やかな支援を提供出来るよう努めています。また、定期的に研修を行い、スタッフのスキル向上にも取り組んでいます。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	24					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	24					
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題がしっかりと分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	24					
	6 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	22	2				・個々で活動している子も参加できるようなプログラムも考えていきます。 ・季節や行事に合わせたプログラムが組み込まれています。複数のスタッフが連携してプログラム内容を共有し、異なる視点や方法を取り入れた活動をしています。
	7 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	9	9	6		・放デイでは必要ないと思います。 ・コロナ禍で今は難しい状況かと思えます。 ・学校に行っているので特に必要ないと思えます。	・地域の公園や施設を利用し、交流の機会を設けています。 ・デイサービスでの活動においては子ども一人ひとりのニーズに応じた療育を最優先としています。その為必ずしも他の施設や障害のない子どもとの交流を強制的に設けることはありません。一方で他の子どもたちとの自然な関りが成長の一助となる場合もある為、今後も適切な機会があれば柔軟に検討します。 ・地域の公園に行った際は障害に関わらず交流出来る環境があります。
	8 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	24					
	9 児童発達支援又は放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われているか	24					
保護者	10 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	24					
	11 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	24					
	12 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	24				・いつも助かっています。	・今後も定期的に面談を実施して育児等に関するアドバイスを提供し続けるとともに、必要に応じて個別のサポートができるよう配慮します。 ・保護者様からのご相談に迅速に対応できるよう心がけています。
	13 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	22	2			・最近参加できませんが、いつも楽しいです。	・保護者会にて、保護者同士で交流できる場を提供しています。

への説明等	14	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	23	1			・いつも期待の上をいってくださるので、感謝はあれど苦情はないです。	苦情があった場合には迅速かつ適切に対応する準備を整えております。今後も保護者との良好な関係を維持し、引き続きご意見をいただけるような環境作りを努めています。
	15	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	24				・関係機関の中で一番初めにアプリを導入されました。	
	16	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	24					
	17	個人情報に十分注意しているか	23	1				・定期的に職員への注意喚起の徹底をしています。
	18	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながら、支援内容の説明がなされたか	23	1				・面談にて説明を行っています。
非常時等の対応	19	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	24					
	20	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	23	1			・行われているとは思いますが、日程的に本人が参加できているかはわかりません。(頻度がよくわからないので…)。 ・おかげさまで学校での訓練でパニックにならずに済んだようです。	・全員が避難訓練に参加できるように長期休暇期間の中で一週間実施しています。 ・今後も訓練内容をサービス提供記録に載せていきます。 ・地震、火災、不審者を想定した訓練を定期的に行っています。
満足度	21	子どもは通所を楽しみにしているか	21	3			・いつもありがとうございます。 早く帰ってYouTubeを観たい日もあるようです。	・お子様が自宅でのリラックス時間を楽しみにしている様子が伺えました。当施設では子どもたちが楽しく過ごせるプログラムを提供する事を目指しており、引き続き多様な活動を通して施設での時間がより魅力的になるよう工夫していきます。
	22	事業所の支援に満足しているか	24				・大満足・大感謝です。	
運動療育	23	運動療育は役に立っているか	18	6			・OTとしてはやっていないですよね？ ・運動療育とはどのようなことでしょうか？	・OTは白曜の個別で行っています。 ・運動療育とは身体的だけでなく、社会性や情緒の発達・集中力や自己肯定感の向上も目的としています。 ・運動療育は楽しみながら体を動かし、子どもたちが自分のペースで成長が出来るようサポートすることを目的としています。今後も個々のニーズに合わせた活動と工夫をしていきたいです。
	24	今後やってほしい療育はあるか	14	6		4	・縄跳びやマット運動、鉄棒などが苦手なので体育ですのような運動を教えてもらいたい。 ・一般児童が通う習い事には参加が難しいので毎週でなくてもサッカーなどチームプレーができる療育があれば良いと思う。 ・今の療育に満足しています。特にこちらに要望することはありません。 ・今のままで本人のペースややりたい事を大切にしてもらいたいです。 ・運動療育、ボールを取り入れた療育をお願いします。 ・OTが可能なら嬉しいです。 ・スポーツ（縄跳び、鉄棒など体育の授業ですのような）を取り入れてもらえたら嬉しいです。	・貴重なご意見ありがとうございます。②(上記)にもあるように運動は身体以外にも様々な目的があります。幅広く療育に取り入れていけたらと考えています。 ・専門的なスポーツの活動は当施設の現状の設備やスタッフの資格の関係で実施が難しい状況です。ただし、今後のプログラムにおいて運動を取り入れた体験を増やすため、簡単な体操やボール遊びなど子どもたちが楽しみながら体を動かせる活動を取り入れる予定です。 ・運動プログラムでは、より目的を明確化した活動を取り入れ身体機能の発達を促すようにする。 ・子どもの個性に配慮しつつも集団(協力)をベースとしたプログラムを取り入れる。

公表

## 事業所における自己評価結果（放課後デイサービス）

事業所名

なないろの家

公表日

年 月 日

	チェック項目			工夫している点	課題や改善すべき点	
		はい	いいえ			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	11		・必要に応じてパーテーションでスペースを区切っている	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	11		・目がいき届き安全が確保できる人数がいる ・多目に配置されておりとても有難い ・多いので雑やかな対応が出来ていると思う	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	11		・仕切りや絵カードの活用をしている ・片付けの場所、スケジュールなど ・それぞれの子どもに応じた活動内容の提示をしている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	11		・個別、集団どちらの対応もできる	・普段目の届かない所もこまめに掃除していきたい
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	11		・個別の部屋がいくつかあり集中しやすい環境を作ることが出来ている ・個室が複数あり適宜使用できる	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	11			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		・保護者の表現がしっかりと担当に伝達されていると感じる。 ・毎年行い、職員間で共有することで業務改善に繋がっている。 ・ミーティングを行なっている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		・支援計画にも繋げている。 ・月に何度か会議があるので職員同士意見交換しやすい。 ・意見等言いやすい職場になるよう配慮している。 ・常勤は朝ミーティング、全体でも月1回はミーティングを行なっている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	4	・していない ・外部評価を行っているか知らない	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11		・かなり確保されている ・職員に研修内容の希望を聞いており良いと思う ・計画的にもしているし、必要な時にも随時行なっている	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11		・HUGを使い公表している ・ホームページに掲載している ・5領域を取り入れたプログラムを作成している	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	11		・各種検査結果など客観的な情報もふまえて計画している	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10		・密に話が出来ている ・連絡事項がある時はその都度報告している ・サービス担当者会議では、共通理解だけでなく各々が意見を述べられる機会もある	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11		・情報伝達をしっかりとっている ・支援計画がすぐ確認できるところにある ・計画書がすぐに確認できるよう工夫している ・いつでも支援計画が見れるような仕組みになっている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9		・大きな課題があるときは行動観察を行うなど適切に対応している。 ・標準化されたツールを保護者より頂いたり施設内で検査をとることもある。 ・保護者との面談や日頃の様子などインフォーマルなアセスメントも使用している	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10		・変更がでるたびに見直しをしている	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10		・常勤を中心に行なっている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10		・その時の利用者さんの状況に応じて変更している ・子どもの活動を把握し、意見を伝えるようにしている ・複数人で考えたり子どものアイデアを取り入れるなど工夫している。 ・柔軟に行なっている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	10		・必要に応じて出来ている	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10		<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回打ち合わせの機会がある</li> <li>・内容や役割が事前に分かるようになっている</li> <li>・毎日常勤で朝ミーティングを行い、スタッフと共有している</li> </ul>	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常勤内でまとめて翌日にはスタッフに連絡している</li> <li>・当日には難しいこともあるが情報等の共有は行っている。</li> <li>・その日起きたことはその旨伝えている。</li> <li>・支援終了後は難しい為、翌日に行っている</li> <li>・日報や職員共有欄への記入</li> </ul>	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10		<ul style="list-style-type: none"> <li>・HUGで行っている</li> <li>・記録は主観ばかりにならず客観的に残すよう指導している</li> </ul>	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10		<ul style="list-style-type: none"> <li>・半年ごとに限らず必要があれば都度見直しを行っている</li> </ul>	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	10			
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己選択、自己決定、思いの表出にとても力を入れるための視覚支援を行っている</li> <li>・自己決定に繋がるよう必要に応じて視覚支援を取り入れている</li> </ul>	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療関係とは必要なきに行えるようにしている。それ以外は常に出来ている</li> <li>・必要に応じて連携を行っている</li> </ul>	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	1		
関係機関や保護者との連携	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	1		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	9		<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて助言を受ける態勢や連絡を行っている</li> <li>・保護者に適切に情報を伝えることでその役割を果たしてと考える</li> <li>・児童発達支援センターではないがスーパーバイズの助言は受けている</li> </ul>	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接交流する機会は少ないが地域の公園や施設等に出かけ、人々との交流の機会を作っている</li> <li>・研修の案内をすぐ見ることができて参加意欲へ繋がっている</li> <li>・お祭り、地域の公園や施設に行っている</li> </ul>	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回参加している</li> </ul>	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9			

保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	1	・契約時にしている ・毎月のおたよりでも載せている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10		・本人中心支援を心掛けている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10		・家族支援を定期的に行なっている、必要に応じて追加支援もしている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	8		・保護者交流会の機会を提供している	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9		・ブログ（HP）やサービス提供記録への写真の掲載 ・毎月のお便りでの発信している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9	1	・お祭りの開催を行なっている	
非 常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8	1	・母親からの情報、服薬依頼書をもっている	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	1	・アレルギー等も常に見れる所に一覧表を置いている ・保護者から情報を収集し適切に対応できるようにしている	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		・回覧をしている ・書類に目を通してはいる又は記入している ・ミーティングでの発表と回覧している	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10		・研修に参加している	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10			

(別紙3)

	公表	事業所における自己評価総括表（児童発達支援）
--	----	------------------------

○事業所名	なないろの家		
○保護者評価実施期間	2024年9月19日	～	2024年10月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 5人	(回答者数)	2人
○従業者評価実施期間	2024年11月21日	～	2024年11月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 11人	(回答者数)	9人
○事業者向け自己評価表作成日	2024年12月13日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・適切に支援プログラムを作成し、公表している	・季節を取り入れた活動プログラムを作成している ・定期的にホームページに掲載している	・今後も定期的にホームページに掲載していく ・子どもがワクワクするようなプログラムを考えていく
2	・生活空間は子どもに分かりやすく構造化された環境になっている	・視覚的に分かりやすくするために、片付けの場所におもちゃの写真を貼ったり、スケジュールやカレンダーを使って子どもに応じた活動内容の提示がされている。	・必要に応じて絵カードをすぐに提示できるよう大部屋(支援室)に設置している。また、スタッフ全員が絵カードやメモとペンを常備している。
3	・「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	・一方的な説明にならないよう、保護者からの意見も発言できる場を作るよう工夫している。	・今後も保護者からの意見も発言できるような場になるよう工夫していく

	事業所の弱み（※）だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・定期的に避難訓練が行われている事が周知されていない	・個別支援計画やサービス提供記録に記載していることが保護者に認知されていない	・ホームページに掲載する等、発信をしていく
2			
3			

(別紙4)

	公表	保護者等からの事業所評価の集計結果（児童発達支援）
--	----	---------------------------

事業所名	なないろの家
------	--------

公表日 2024年12月23日  
 利用児童数 5人 回収数 2人

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環 境 ・ 体 制 整 備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	2				
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	2				
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	2				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	2				
適 切 な	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	2				
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	2				
	7	子どものことを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	2				

支 援 の 提 供	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	2				
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	2				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	2				
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	2				
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	2				
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	2				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2				
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	2				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1	1			・今後も定期的に面談を実施して育児等に関するアドバイスを提供し続けるとともに、必要に応じて個別のサポートができるよう配慮します。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	1	1			・職員がより共感的に支援を提供できるよう支援方法やコミュニケーションについて検討し、利用者一人ひとりの気持ちに寄り添う対応が出来るよう努めます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	1	1			・保護者会にて、保護者同士で交流できる場を提供しています。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	2				
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	2				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	1	1			・ホームページに活動の様子を定期的に掲載しています。・送迎の際にも保護者様に活動の様子等を伝えています。
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	2					
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	2				
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1	1			・定期的に避難訓練を実施しています。・訓練の様子の発信を強化していきます。・訓練がマンネリ化しないよう工夫していきます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	2				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	2				
満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	2				
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	2				
	29	事業所の支援に満足していますか。	2				



公表

## 事業所における自己評価結果（児童発達支援）

事業所名	なないろの家		公表日		年	月	日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9		・職員の数が多いので細やかな対応が出来ると思う ・子どもへの目が行き届き安全が確保できる態勢を整えている		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9		・片付けの場所、スケジュールなど視覚的に分かりやすくしている		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		・個別、集団どちらの対応もできる		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		・個室が複数あり必要に応じて利用できる		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		・ミーティングを行なっている ・結果を職員で共有し改善に繋がって良い		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		・常勤は毎日ミーティング、全体でも月に一度ミーティングを行なっている		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	3			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		・計画的にも行い、必要な際にも随時行なっている		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		・ホームページに掲載している ・HUGにて公表している		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		・いつでも支援計画が見れるような仕組みになっている ・計画書がすぐ確認できるよう工夫している		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		・標準化されたツールを保護者よりいただいたり、施設内で検査をとることもある ・保護者との面談や日頃の様子などインフォーマルなアセスメントも使用している		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		・常勤を中心にしている		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		・季節の物を取り入れている ・柔軟にしている ・年間で大まかな活動を定める事で固定化しないよう工夫している		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8		・必要に応じて出来ている		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		・内容や役割が事前に分かるようになっている		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	1	・日報や職員共有欄への記入を行っている		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8				

	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8			・必要に応じて連携をとれる態勢を整えている
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8			・必要に応じて情報共有や連携をとれる態勢を整えている
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	3		・必要に応じて対応できるようになっている
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7	1		・児童発達支援センターではないが、スーパーバイズの助言は受けている ・必要に応じて連携をとれる態勢を整えている ・研修の案内をすぐ見れるよう掲示している
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6	2		・地域の公園や施設などを利用することで交流の機会を提供している ・地域の施設等へ出向く機会が設けられている
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8			・HUGを使用し発達の状況を共有している
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8			

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8				
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8				
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8			・一方的な説明にならず保護者からの意見も言いやすい場になるよう工夫している	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8				
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8			・保護者学習会を行い交流の場も提供している	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8				
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8				
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8			・意識が下がらないよう定期的に注意喚起されてよい	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8				
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	1			
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9				
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9				
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9				
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	1			・医師の指示書ではないが保護者より診断結果等、情報を収集し対応している
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9				
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8				
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8				・ミーティングでの共有、回覧を行なっている
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8				・毎年研修を行なっている
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8				